



## 2026年10月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年6月9日

上場会社名 株式会社ミロク 上場取引所 東  
 コード番号 7983 URL <https://www.miroku-jp.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 弥勒 美彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 宮地 雅久 TEL 088-863-3310  
 半期報告書提出予定日 2026年6月12日 配当支払開始予定日 2026年7月10日  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年10月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年11月1日～2026年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年10月期中間期	6,204	△1.6	107	△5.4	209	△25.4	205	6.7
2025年10月期中間期	6,306	16.5	113	—	280	181.8	192	646.6

(注) 包括利益 2026年10月期中間期 791百万円 (△945.8%) 2025年10月期中間期 △93百万円 (△126.4%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年10月期中間期	69.83	—
2025年10月期中間期	65.16	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年10月期中間期	23,290	11,509	49.4
2025年10月期	21,869	10,747	49.1

(参考) 自己資本 2026年10月期中間期 11,509百万円 2025年10月期 10,747百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年10月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2026年10月期	—	5.00	—	—	—
2026年10月期（予想）	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年10月期の連結業績予想（2025年11月1日～2026年10月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,200	△2.5	△100	—	60	△71.6	610	—	207.62

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無  
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P.9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年10月期中間期	3,005,441株	2025年10月期	3,005,441株
② 期末自己株式数	2026年10月期中間期	69,385株	2025年10月期	55,846株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年10月期中間期	2,937,990株	2025年10月期中間期	2,949,756株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 当中間期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当中間期の財政状態の概況 .....	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 中間連結貸借対照表 .....	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 .....	6
中間連結損益計算書 .....	6
中間連結包括利益計算書 .....	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(追加情報) .....	10

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### （1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調で推移しました。一方、海外における米国の通商政策や中東情勢の緊迫化、原材料価格の高騰等による世界経済の下振れがわが国経済を下押しするリスクは続いております。

このような状況のもと、当社グループは会社に関わるすべての人々に比類のない喜びと感動を与えるため、高品質な製品とサービスを世界へ提供することをミッションに、グループ一丸となって業績向上に努めてまいりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### （猟銃事業）

当社製品の最重要顧客であるブローニンググループからの受注は、トランプ関税の影響等もあり前年同期比で低調に推移しました。主要製品である上下二連銃は販売数量・売上高ともに前年同期並でしたが、もう一方の主要製品であるポルトアクションライフルが振るわず、全体の売上高は前年同期比で減少しました。利益につきましては前期末までの固定資産の減損損失による減価償却費の剥落はあったものの、原材料価格の高騰等の影響が大きく、依然としてその原価上昇分を販売価格に転嫁できていないことから、前年同期比で減少しました。その結果、売上高は5,096,374千円（前年同期比4.2%減）、セグメント利益（営業利益）は125,121千円（同比35.4%減）となりました。

#### （工作機械事業）

機械部門は一定の受注を確保しているものの、販売が上期に集中した前年同期と比べ、販売台数、販売金額ともに減少しました。他の部門は堅調に推移しましたが、全体の売上高は前年同期を若干下回りました。利益につきましては、加工部門を中心に相応の利益を確保したことから、前年同期に比べて増加しました。その結果、売上高は1,082,969千円（前年同期比3.7%減）、セグメント利益（営業利益）は99,125千円（同比34.8%増）となりました。売上高につきましては、セグメント間の内部売上高10,310千円を含んでおります。

#### （クラウドソリューション事業）

設備保全業務効率化のためのクラウドサービス等の販売において、鋭意顧客獲得の営業活動を進めており、売上高は前年同期に比べて増加となりました。利益につきましては引き続き損失を計上しましたが、損失幅は減少しております。その結果、売上高は13,906千円（前年同期比111.8%増）、セグメント損失（営業損失）は10,649千円（前年同期は23,963千円の損失）となりました。売上高につきましては、セグメント間の内部売上高465千円を含んでおります。

#### （その他事業）

その他事業の売上高は22,402千円（前年同期比4.2%減）、セグメント利益（営業利益）は11,795千円（同比38.6%増）となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は6,204,878千円（前年同期比1.6%減）、営業利益は107,461千円（同比5.4%減）、経常利益は209,016千円（同比25.4%減）、親会社株主に帰属する中間純利益は205,157千円（同比6.7%増）となりました。

（2）当中間期の財政状態の概況

（資産）

資産合計は前連結会計年度末に比べて1,421,733千円増加し、23,290,903千円となりました。

主な要因は、建物及び構築物（純額）が95,923千円、建設仮勘定が36,219千円減少したものの、受取手形及び売掛金が185,744千円、棚卸資産が182,243千円、機械装置及び運搬具（純額）が202,685千円、投資有価証券が817,341千円増加したこと等によるものであります。

（負債）

負債合計は前連結会計年度末に比べて660,133千円増加し、11,781,516千円となりました。

主な要因は、長期借入金が1,000,000千円減少したものの、短期借入金が440,000千円、1年内返済予定の長期借入金900,000千円、固定負債の「その他」に含まれる繰延税金負債が244,403千円増加したこと等によるものであります。

（純資産）

純資産合計は前連結会計年度末に比べて761,599千円増加し、11,509,386千円となりました。

主な要因は、利益剰余金が190,152千円、その他有価証券評価差額金が581,138千円増加したこと等によるものであります。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年10月31日)	当中間連結会計期間 (2026年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,663,732	1,679,643
受取手形及び売掛金	2,132,184	2,317,929
棚卸資産	6,271,041	6,453,284
その他	389,691	402,468
貸倒引当金	△36	△43
流動資産合計	10,456,613	10,853,282
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,743,972	3,648,049
機械装置及び運搬具（純額）	373,306	575,991
土地	2,538,302	2,538,302
建設仮勘定	84,653	48,434
その他（純額）	104,218	235,721
有形固定資産合計	6,844,454	7,046,500
無形固定資産	6,091	8,616
投資その他の資産		
投資有価証券	4,366,673	5,184,014
その他	208,317	211,546
貸倒引当金	△12,980	△13,057
投資その他の資産合計	4,562,010	5,382,503
固定資産合計	11,412,556	12,437,620
資産合計	21,869,169	23,290,903

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年10月31日)	当中間連結会計期間 (2026年4月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,148,485	1,029,461
短期借入金	1,860,000	2,300,000
1年内返済予定の長期借入金	200,000	1,100,000
未払法人税等	29,238	17,974
賞与引当金	205,007	313,481
役員賞与引当金	5,650	2,750
その他	855,946	860,172
流動負債合計	4,304,327	5,623,839
固定負債		
長期借入金	5,100,000	4,100,000
役員退職慰労引当金	216,910	226,995
退職給付に係る負債	677,544	703,367
その他	822,600	1,127,314
固定負債合計	6,817,055	6,157,677
負債合計	11,121,383	11,781,516
純資産の部		
株主資本		
資本金	863,126	863,126
資本剰余金	553,778	553,778
利益剰余金	7,888,152	8,078,304
自己株式	△32,241	△47,038
株主資本合計	9,272,815	9,448,171
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,427,651	2,008,790
為替換算調整勘定	47,319	52,424
その他の包括利益累計額合計	1,474,970	2,061,215
純資産合計	10,747,786	11,509,386
負債純資産合計	21,869,169	23,290,903

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書  
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年4月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年4月30日)
売上高	6,306,138	6,204,878
売上原価	5,559,009	5,536,856
売上総利益	747,129	668,021
販売費及び一般管理費	633,567	560,560
営業利益	113,561	107,461
営業外収益		
受取配当金	27,584	31,131
持分法による投資利益	103,322	52,830
スクラップ売却益	21,101	33,054
その他	37,939	27,238
営業外収益合計	189,948	144,254
営業外費用		
支払利息	21,611	40,790
シンジケートローン手数料	647	500
その他	1,112	1,408
営業外費用合計	23,372	42,699
経常利益	280,137	209,016
特別利益		
固定資産売却益	—	8,262
特別利益合計	—	8,262
税金等調整前中間純利益	280,137	217,279
法人税等	87,930	12,121
中間純利益	192,206	205,157
親会社株主に帰属する中間純利益	192,206	205,157

## （中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年11月1日 至 2025年4月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年11月1日 至 2026年4月30日）
中間純利益	192,206	205,157
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△330,410	534,768
為替換算調整勘定	△9,014	5,105
持分法適用会社に対する持分相当額	53,652	46,370
その他の包括利益合計	△285,771	586,244
中間包括利益	△93,564	791,402
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	△93,564	791,402

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年11月1日 至 2025年4月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年11月1日 至 2026年4月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純利益	280,137	217,279
減価償却費	282,170	220,338
貸倒引当金の増減額（△は減少）	19	84
受取利息及び受取配当金	△27,681	△31,433
持分法による投資損益（△は益）	△103,322	△52,830
助成金収入	△806	△2,458
支払利息	21,611	40,790
シンジケートローン手数料	647	500
固定資産除売却損益（△は益）	230	△8,262
売上債権の増減額（△は増加）	△20,787	△185,701
棚卸資産の増減額（△は増加）	171,021	△182,243
仕入債務の増減額（△は減少）	4,242	△119,024
賞与引当金の増減額（△は減少）	86,074	108,474
役員賞与引当金の増減額（△は減少）	△3,431	△2,900
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	6,361	25,823
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	11,309	10,085
その他	△253,129	170,694
小計	454,669	209,214
助成金の受取額	806	2,458
法人税等の支払額	△44,025	△25,569
法人税等の還付額	63,977	13,289
営業活動によるキャッシュ・フロー	475,427	199,391
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,524,982	△491,858
無形固定資産の取得による支出	△49,325	△52,038
利息及び配当金の受取額	63,956	78,133
保険積立金の解約による収入	10,000	—
その他	△1,220	11,333
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,501,572	△454,429
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額（△は減少）	460,000	440,000
長期借入れによる収入	1,320,000	—
長期借入金の返済による支出	△400,000	△100,000
リース債務の返済による支出	△2,036	△17,795
配当金の支払額	△6,002	△15,005
利息の支払額	△21,887	△40,806
シンジケートローン手数料の支払額	△861	△500
その他	△137	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,349,075	265,892
現金及び現金同等物に係る換算差額	△8,992	5,055
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	313,938	15,910
現金及び現金同等物の期首残高	1,299,638	1,663,732
現金及び現金同等物の中間期末残高	1,613,577	1,679,643

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自 2024年11月1日 至 2025年4月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	猟銃事業	工作機械 事業	クラウド ソリューション 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,318,591	958,178	5,976	6,282,746	23,391	6,306,138	—	6,306,138
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	166,259	591	166,850	—	166,850	△166,850	—
計	5,318,591	1,124,438	6,567	6,449,597	23,391	6,472,988	△166,850	6,306,138
セグメント利益 又は損失 (△)	193,596	73,544	△23,963	243,178	8,510	251,689	△138,127	113,561

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業、木材関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△138,127千円には、セグメント間取引消去△10,446千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△127,680千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない提出会社の営業費用であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間（自 2025年11月1日 至 2026年4月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	猟銃事業	工作機械 事業	クラウド ソリューション 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,096,374	1,072,659	13,441	6,182,476	22,402	6,204,878	—	6,204,878
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	10,310	465	10,775	—	10,775	△10,775	—
計	5,096,374	1,082,969	13,906	6,193,251	22,402	6,215,653	△10,775	6,204,878
セグメント利益 又は損失 (△)	125,121	99,125	△10,649	213,597	11,795	225,393	△117,931	107,461

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車関連事業、木材関連事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額△117,931千円には、セグメント間取引消去△1,906千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△116,025千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない提出会社の営業費用であります。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（グループ通算制度の適用）

当社及び一部の国内連結子会社は、当中間連結会計期間から、単体納税制度からグループ通算制度へ移行しております。これに伴い、法人税及び地方法人税並びに税効果会計の会計処理及び開示については、「グループ通算制度を適用する場合の会計処理及び開示に関する取扱い」（実務対応報告第42号 2021年8月12日）に従っております。